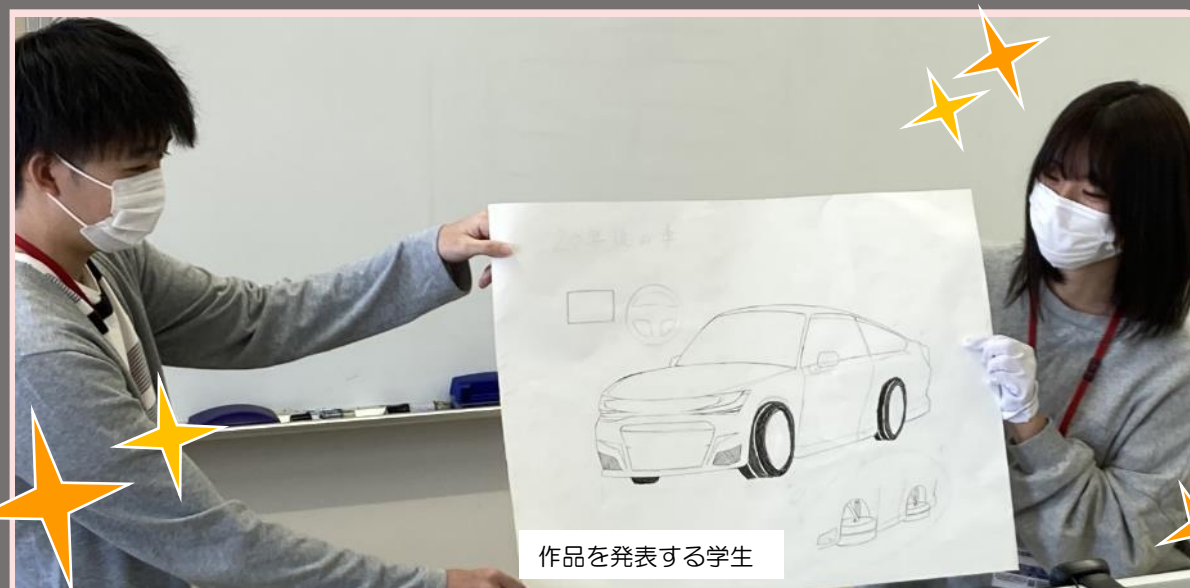




1 磨き育む「デザイン思考」



作品を発表する学生

デザイン思考を育む授業が、「キャリア形成」(9月21日(水):第二学年)で実施されました。学生たちは、ユーザの目線に立った新たな商品やアイデアを検討し、グループ毎に発表しました。本田空さん(明秀学園日立高卒)は「グループワークやクレイモデルの製作など新鮮でした」と話していました。

【デザイン思考】

ユーザの課題や問題意識に立脚した、デザイン(設計)を行うプロセスであり、解決策を見いだすマインドセットのことです。英語では、「Design Thinking」

4 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加え「社会人基礎力」向上のため、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事>日本経済新聞(2022年9月13日)
「3Dプリント義足、安価で」

◇要約

●中熊柚香さん(水戸第二高卒)

徳島泰さんは、3Dプリンターや人工知能を活用して、10分の1の価格で義足を作り途上国で販売している。過去の経験から開発を決め、その後も試行錯誤を繰り返し実用化を実現した。また、更なるコスト削減と商品を広めることを目指している。



◇感想

●増山すみれさん(水戸商高卒)

金銭的余裕のない人ほど必要としているものを、情報や最新技術を使い手に入れやすくする。考えることは容易だが、実行しそれを実現したことに敬意を覚えた。より発展した技術でより多くの人を救えることを願う。

●山田愛璃さん(土浦第三高卒)

徳島さんは、独自の経験から貧しい人たちのために起業を決意した。困っている人たちの義足を作るための専用の3Dプリンターを準備し、材料開発にも取り組んだ。私も将来困っている人々の役に立てるようなシステムエンジニアになりたい。

●原田悟さん(石岡商高卒)

本来、義足は高価なものだと思いますが、3Dプリンターで価格を抑えて、世界に届けるのは素晴らしいと思いました。私も何か人に役立てられるエンジニアになりたいと思いました。そのためにもこれからも勉強を頑張ります。



●大里竜也さん(下館工高卒)

フィリピンの状況を見て、自分がどうにかしなければと思って行動する力と、人のために努力できることは、凄いことだと思った。思っても行動できる人は少ないし、会社を設立するなど、努力家だと思った。

2 学び活かせる防災知識



【強化策の例】

FMラジオの活用 76.2MHz
防災ラジオの導入
表示板へのイラストの掲載
応急給水栓の導入
自主防災組織
運動会などで楽しみながら防災訓練 など



配布された災害救助用クラッカー!



防災教育の実施風景

水戸市防災・危機管理課による防災教育が実施されました。東日本大震災の教訓をもとに、備蓄、情報伝達、地域の防災活動への支援を強化し、日頃から災害に強い水戸市づくりに努めています。受講した吉岡勇樹(玉造工高卒)は「水戸市の災害対策に感心しました。私も参考にしたい」と話していました。

3 みんなの母校訪問!

昭和38年創立の工業高校で、1万人を超える卒業生が各分野で活躍しています。「至誠」「勤勉」「協和」の校訓の下、工業の役割を認識し社会の発展に寄与する技術者を育成しています。

大塚哲蔵校長は「ITの専門技術を高めて将来に役立ててほしい」と話されていました。【設置学科】機械、機械・エネルギー、電気、情報技術

県立玉造工業高等学校



大塚哲蔵 校長

